

青堀保育園運営移管便り

第1号



富津市おもてなしキャラクター「ふつつん」

令和4年6月14日

青堀保育園に在園している児童の保護者の皆さんに園の運営移管までの動きをお知らせします。

次期運営者に純真福祉会が決定

青堀保育園の次期運営者を公募し、プロポーザルによる選定を行い、社会福祉法人純真福祉会（鹿児島県志布志市）に決定しました。富津市が園舎等を社会福祉法人高砂福祉会から取得し、富津市が所有する敷地と合わせて令和5年4月1日から令和15年3月31日まで純真福祉会が借り受け、保育園を運営します。

第1回三者打合せ会を開催

4月26日に高砂福祉会、純真福祉会及び富津市の関係者が市役所に集まり、青堀保育園運営移管のための打合せ会を開催しました。園の運営を円滑に移管できるように職員の雇用、保護者への情報提供、引継保育などについて話し合いました。今後も三者で協議を行っていきます。

職員説明会を開催

5月30日に青堀保育園の職員を対象とした説明会が開催され、純真福祉会が運営方針、職員の雇用などについて説明しました。

今後の主な予定

令和4年10月29日（土） 保護者説明会を開催します。入園申込受付に先立ち、純真福祉会、高砂福祉会及び富津市により、園の運営方針等を説明し、保護者の皆さんの御質問にお答えします。詳細は、後日、改めてお知らせします。

令和5年1月 園児や保護者の皆さんが安心して入所を継続していけるよう、令和5年3月まで純真福祉会の職員が保育に加わり引継保育を実施します。

社会福祉法人純真福祉会の紹介

社会福祉法人純真福祉会は、鹿児島県志布志市有明町にあります。志布志市は、大隅半島に位置し、人口が約3万人、農業（お茶など）、畜産（鹿児島黒豚や黒牛）、鰻の町として知られています。純真福祉会は、旧有明町（現在は有明町・志布志町・松山町が合併し志布志市）で、昭和56年に通山保育園（現在の通山こども園）としてスタートしました。その後、平成10年に全国で初めてとなる民間委託として、旧有明町からの委託を受け、伊崎田保育所（現在の伊崎田こども園）を運営し、続いて平成16年に旧志布志町からの委託を受け、たちはな保育所（現在のたちはなこども園）を運営してきました。現在、その3つの施設を幼保連携型認定こども園（通山）・保育所型認定こども園（伊崎田・たちはな）へと移行し、それぞれの地域に合った施設運営を行っています。また、それぞれの施設で放課後児童クラブを実施し、子育て支援センターや休日保育・一時保育・障害児保育など、地域のニーズに合わせた様々な事業も実施しています。

保育・教育の取組として、現在、青堀保育園でも取り入れられ、実践されている「ヨコミネ式」は、純真福祉会が鹿児島で運営する3園での保育実践が原点となり、全国へ広がったものです。心の力・学ぶ力・体の力の3つの力を柱とした教育・保育の取組です。今回の移管に際し、園児や保護者の皆さん

ま、職員の先生方には、純真福祉会で実践している「ヨコミネ式」をこれまで以上に、身近に感じてもらい、その保育・教育を更に深める機会として期待していただきたいと思います。

青堀保育園運営法人の公募に際し、九州の鹿児島から参加した経緯は、青堀保育園を運営する高砂福祉会が、純真福祉会の「ヨコミネ式」を平成18年頃から保育へ取り入れたことから始まりです。当時、200名近い園児が在園し、支援センター事業や放課後児童クラブも実施し、青堀保育園が地域の子育ての中核としての役割を担い、園児と先生方の活気あふれる様子を、私も園を訪問し、拝見したことがあります。

今回の高砂福祉会の撤退を偶然、耳にし、法人として力になれるのではないかの思いから応募した次第です。この移管に際しては、まず何より、園児や保護者の皆さんが安心して園での生活を継続し、お預けいただけるよう、職員の先生方、富津市の関係者の皆さまと、しっかりと連携して進めて参ります。

社会福祉法人純真福祉会 理事長 横峯 吉文

☆在園しているお子さんや保護者の皆さんが先々に対して不安を持たずに安心して卒園までの日々を過ごせるよう、高砂福祉会、純真福祉会及び富津市が力を合わせて取り組んでいきます。今後、園の運営移管に関する情報を提供していきます。

富津市健康福祉部子育て支援課

電話 0439(80)1312